

五戸総合病院での研修を終えて

令和元 年 9 月研修
青森県立中央病院 初期研修医 今田 亜由美

1 ヶ月間内科で研修させていただきました、青森県立中央病院研修医の今田と申します。地域研修に五戸を選んだ理由は、親戚の家があり何度か訪れたことがあるため、自分にゆかりがあるところの病院に行きたいと思ったことがきっかけでした。内科研修では一般内科外来、往診や診療所での診察、また人生初めての主治医になるなど、地域研修ならではの医療を目の当たりにさせていただきました。地域の老健施設に出入りするのには学生の頃以来であったため、研修医という立場から施設の方を診察することは今回が初めてでした。入院されている患者さんは慢性期の方が多く、普段の急性期の入院とはまた違った対応もあり、大変勉強になりました。また、午後の救急外来では初期対応後に他院に搬送する側に初めてなることで、初期対応時の指示の出し方や、診療情報提供書の迅速な作成等を学ばせていただきました。上記のことは今までの研修生活では体験したことがなく、新鮮であると同時に自身の勉強不足を痛感させられました。

また先生方のご厚意で内科だけではなく、外科手術や麻酔、帝王切開の助手にもたくさん入らせていただきました。午前には内科外来、午後は外科手術や麻酔管理という日も何度もあり、充実した毎日を送らせていただきました。内科だけではなくこういった色々なこともさせてもらえることも大変魅力的だと思います。

当院から五戸総合病院に来た研修医は私が初めてということで、最初はとても緊張しながらの研修生活でした。なれない環境の中、色々と戸惑っている私を佐藤先生をはじめ諸先生方、コメディカルの方々が親切に指導してくださり、緊張も徐々にほぐれ充実した地域研修を行うことができました。一か月間大変お世話になりました。本当にありがとうございました。